

---

# 欲と闇

空葉 翔輝

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

欲と闇

### 【Nコード】

N6268B

### 【作者名】

空葉 翔輝

### 【あらすじ】

政治家になつた。正義を貫き、この国を変えるためにだ。それがなんだ。国をよくするはずの政治家がみんな腐った息を吐いている。・・・浄化しなければ!!

## 序章（前書き）

この物語はフィクションです。

多少危険な発言等がありますが、作者の意思とは無関係です。

## 序章

暗い。不快を与える静けさのもと、部屋は闇に包まれていた。少しでも光をとカーテンを開ける。月が出ていない。夜空もまた闇に包まれていた。仕方なく電気をつけた。つかない。停電なのか。ため息をつきながらベッドの脇にある煙草に手を伸ばした。煙草に火をつけた瞬間、その顔がわずかに照らされた。

まだ若い。十代にも見えるその顔は、疲れた表情により年相応の雰囲気を出していた。煙草の煙を吐き出す様が更に若さを打ち消している。男としては長い黒髪も、大人の色気を演出していた。

「・・・うまい」

思わず呟いていた。寝起きの煙草は格別にうまい。夢が入り混じった意識を現実に戻してくれる。

「そうか。ここは・・・」

ここは、皇帝ホテルの一室。皇帝ホテルは長い歴史を持つビジネスホテルでありながら、その値段、装飾、サービスの質から、利用する者と言えば政治家や弁護士といった類の人間ばかりであった。

吸いかけの煙草を灰皿に押しつぶした。怒りが心の底から沸きあがってくるのを感じた。

昨日、この皇帝ホテルのレストランで一人の男に会った。男は腐っていた。自分に要求してきたこと。下卑た（げびた）表情から疑える彼の人間性、臭い息、何一ついいところを感じさせない人間だった。いや、彼があんな要求をしなければ、印象はまだ違ったかもしれない。

ふと、煙草に手を伸ばしながら部屋のすみを見た。怒りのままにぶちまけた札束が散らばっていた。億程もあるのではないかと思う量だった。

賄賂・・・。

男の要求はただひとつ。自分の娘と結婚してくれ。それだけだっ

た。それだけのことになぜ大量の賄賂を用意するのか。写真で見た彼女は美しかった。長いブロンドの髪に黒い瞳は不釣り合いなようでよく似合っていた。彼女なら結婚させてくれと言われる方が多いはずだ。そんな彼女を官僚である自分とくっつけたいために賄賂を？ 違う。彼の狙いは、官僚に恩を売ること。自分の立場を作ること。それだけだ。

「俺が金と女で動くとしても・・・」

そう思われたことも腹立たしいが、許せないのは自分の娘の人生を、あつさり金と一緒に取引に持ち出せる神経だった。娘はそのことも知らず、今頃ぐっすり寝てるのだろう。・・・哀れだ。

政治家になつた自分に寄ってくるのはこういう類の人間ばかりだった。腐つた世の中を変えるために政治家になつた。が、政界に共に戦う同士はいなかった。ノックが聞こえた。

「・・・来たか」

扉を開けるとスーツの着こなし方がやけに下手な男が立っていた。その顔は嫌らしい表情を浮かべていた。

「旦那、話つて？」

「そうだ。俺はやらなきゃならない。この国を、世界を変えるんだ！  
「・・・ちよつと戦争を起こしたくてな」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6268b/>

---

欲と闇

2011年1月14日04時10分発行